

対象	小学校高学年以上
教科	国語科
該当 単元	小学6年以上 我が国の言語文化
教科書	光村図書・東京書籍等
掲載日	2019.10.2. 朝刊南信版 11版

狂言 笑いとお深さ



幅広い年代が体験会 平谷



① 狂言を披露する泉さんと山本さん
 ② 笑い方の練習をする参加者ら＝いずれも9月21日、平谷村のひらひら平谷で(松尾憲暁さん提供)

日本の古典芸能「狂言」の魅力に触れるワークショップが、関西で活躍する和泉流狂言師の泉慎也さんと山本豪一さんを講師に迎え、平谷村のひらひら平谷(寿楽センター)で開かれた。

子どもから80代まで30人が参加し、泣き方や笑い方、歩き方など狂言の基本動作を体験。舞台では会場に響き渡る声量が求められるため、腹の底から声を出す発声や、軽く手を握って腰の横にそえて腰を落とす「構え」なども学んだ。

泉さんと山本さんは、家主が盗みに入った男を懲らしめる話の演目「盆山」などを披露。参加者は笑い声を上げながら狂言の世界を堪能した。

主催した村教委の中尾有岐さんは「幅広い世代に来ていただいて、楽しかったと言って帰ってくれた。できればもう一度開きたい」と話した。

(二神花帆)

問：ワークショップでは、どんなことを学んだのでしょうか。

- ・ (_____) —— 泣き方や笑い方、歩き方など
- ・ (_____)
- ・ 「構え」

発展1：日本の古典芸能には、狂言以外にどんなものがあるのでしょうか。

(_____)

発展2：狂言にはおもしろいお話がいっぱいあります。図書館で本を探し、読んでみましょう。